

第2回

ニホンジカによる 森林被害と対策

12月6日 水

13:30 ▶ 15:20

大橋 正孝 (静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター)

岐阜大学応用生物科学部棟103教室
(岐阜市柳戸1-1)

定員 100名(先着順・無料)
申込締切 12月1日(金) 18:00



お申込はこちらから
お申込はこちらから



第3回

中型哺乳類 (アライグマ・ハクビシン等)の 農作物被害対策

1月30日 火

13:30 ▶ 15:30

古谷 益朗 (野生生物研究所ネイチャーステーション)

岐阜大学応用生物科学部棟11番教室
(岐阜市柳戸1-1)

定員 60名(先着順・無料)
申込締切 1月26日(金) 18:00



第2回

▶ ニホンジカによる森林被害と対策



講師：大橋 正孝

静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター
森林育成科 科長

1996年に静岡県庁に入庁、林業振興、担い手育成などを担当。

2007年からは静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センターに配属。森林管理に重要な、しかし、先行研究の少ない「ニホンジカの捕獲」を進めるための研究プロジェクトを立ち上げ、リーダーを務める。専門技術者による誘引狙撃法の導入ほか、事業的な捕獲を提案・実証し、新しいわなの開発や人材育成、体制づくりにも取り組む。

2016年に日本森林技術者協会の森林技術賞を受賞。同年から静岡県庁自然保護課（シカ管理行政）配属を経て、2022年に再び森林・林業研究センターに配属となる。

近年は、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター（環境省）として、県内外で捕獲指導等に取り組んでいる。

▶ 野生動物管理推進センターにおける ニホンジカに関する研究

（池田敬特任准教授 / 岐阜県野生動物管理推進センター）

第3回

▶ 中型哺乳類（アライグマ・ハクビシン等） の農作物被害対策



講師：古谷 益朗

野生生物研究所ネイチャーステーション代表

埼玉県出身。専門は動物行動学。

2002年から埼玉県農業技術研究センターで野生動物による様々な被害を回避するための技術開発に取り組む。2019年10月、全国各地の対策に苦慮している地域に速やかな対応をするため埼玉県を退職。現在は、野生生物研究所「ネイチャーステーション」代表として現場からの視線を大切に、地域ごとに最適な対策をアドバイスできるコーディネーターとして活動している。

これまでに多くの技術開発を行い、特にハクビシン、アライグマなどの外来動物や中型動物の対策については全国に先駆けて取り組み、侵入防止柵「電落くん」「楽落くん」やアライグマ専用捕獲機「ラクーンキューブ」の開発・普及など現在までに多くの成果をあげている。

鳥獣被害対策成功のカギは「係る人の意識改革」。これを基本に、現在は全国規模で「正しい事実と正しい技術」の研修や現地指導などを行い、鳥獣害に強い地域づくりを目指した活動を行っている。

農林水産省農作物鳥獣被害対策アドバイザー。

▶ 岐阜県内に生息する中型哺乳類に関する研究

（大森鑑能研究員 / 岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター）

